

紫波町かいわい IT 事情

紫波町ITサポートコーナーを運営するゴーフォワードジャパンが発信します

ロボットカープログラミング教室 特集

紫波町協賛

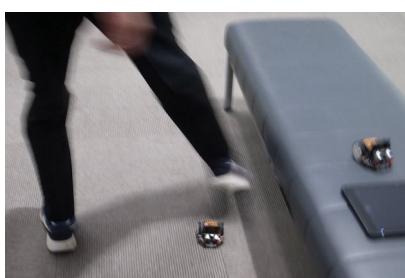
10月15日（土曜日）ロボットカーを使った無料のプログラミング教室を開催します。

「プログラミング」はパソコンに向かってカシャカシャとキーボードで英数字を書き込んでいるイメージかもしれません。一方で、小学校、中学校、高校ではプログラミングの授業が始まっています。

10:00-16:00



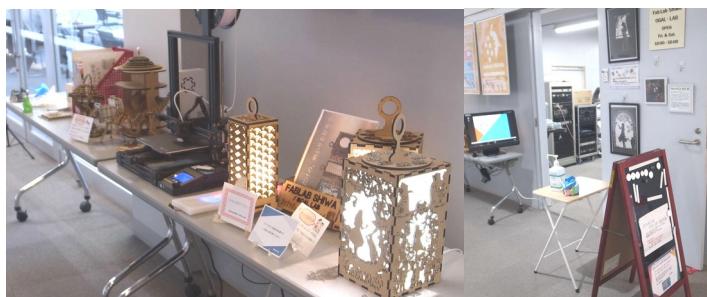
世の中みんながプログラマーになるわけではありませんが、「プログラミング的思考」は重要だと言われていて、授業で考え方を学んでいます。もちろん、大人でも身近な問題解決にプログラミング的思考は役に立ちます。ロボットカーのリアルな動作で“意図通り”なのかどうか楽しく学ぶことができます。



プログラミング的思考とは
自分が意図する一連の活動を実現するため、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していくか、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力
by 文部科学省

紫波町IT無料相談

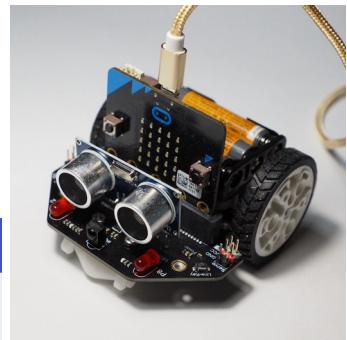
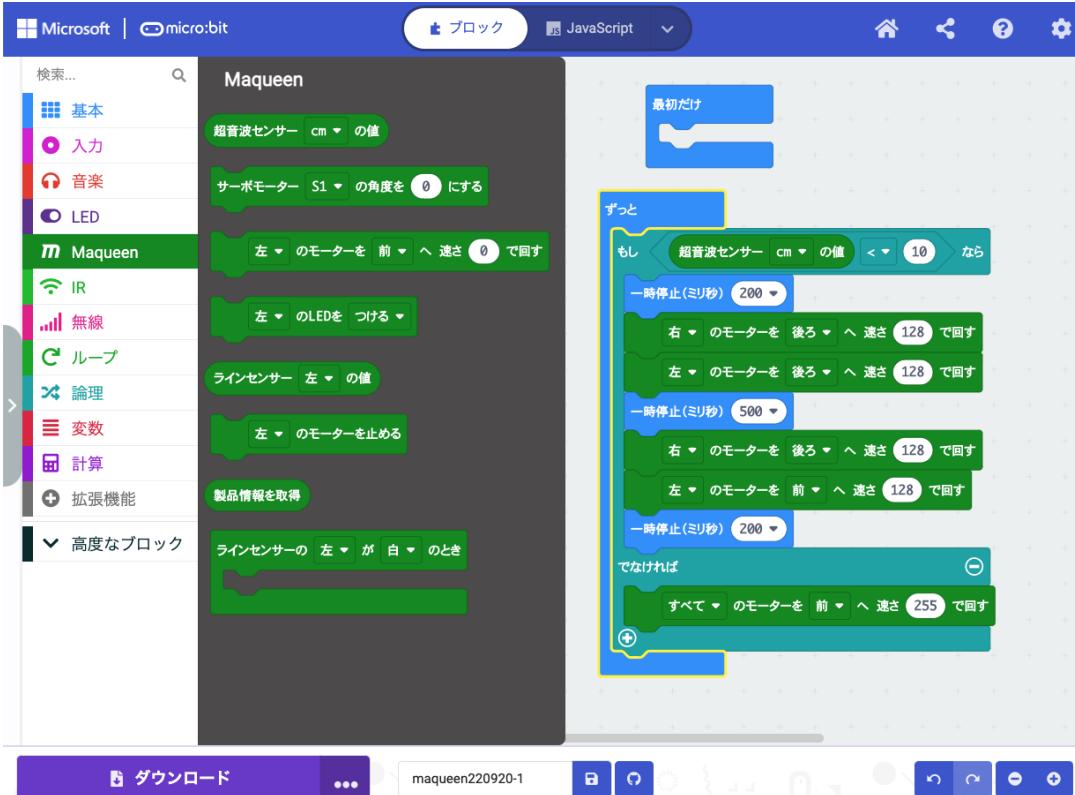
パソコンやスマホを使っていて困ったことがあったら、ITサポートコーナーでいっしょに考えて良い方法を見つけましょう。



金曜・土曜の10時～16時にオープンしています
(情報交流館の休館日を除く)

車輪やセンサーの動作ブロックを組み合わせて電池で動く自動車マックイーンのプログラミングを行います。

学校の授業に取り入れられているScratchと同じブロックプログラミングを使うので、直感的にプログラムを作ることができます。プログラムはマイクロビットというマイコンに書き込んで、マックイーンの頭脳になります。



マイクロビットは科学・技術・工学・数学教育への活用を目指して、英国のBBCとマイクロビット財団が開発したマイコンボードです。

CPUはARM社のCortex M0を使い、5×5 LEDマトリクス、ボタン×2個、3軸加速度センサー、地磁気センサーなどが内蔵されています。

プログラムした動作が、ロボットカーの動きではっきり分かるので納得感を持って楽しく「プログラミング的思考」を体験することができます。10月15日の教室ではマイクロビットとマックイーンとPCを無料でお使いいただけます。

初めての方でも戸惑わないように、ブロックプログラミングの使い方とマイクロビットの機能を楽しんでいただきます。

プログラミング操作に慣れてきたところで、マックイーンをプログラムで動かしてみます。マックイーンが賢く動けるプログラムを考えて、試して、考えて、楽しみます。

走行コースを外れずに走らせるプログラムを考えて、タイムレースを行います。

無料プログラミング教室の問い合わせと申し込みは下記までお願いします。

ITサポートコーナーとファブラボ紫波は紫波町情報交流館2階で、金曜日と土曜日の10時から16時までオープンしています。（情報交流館の休館日はお休みです。）

問い合わせは info@go-forward-japan.org まで。



ファブラボ紫波では毎週土曜日に1、2時間でロボットプログラミングを体験することができます。興味のある方はメールでお問い合わせください。

メール用
QRコード

